



試される リスクをチャンスに転化できる力

栗東市教育委員会 教育長 安土 憲彦

4 月当初、ある保護者の方から次のようなお話を伺いました。「うちの子どもは今年で中学3年生になります。ちょうどコロナが流行り始めたため、小学校最後の卒業式は在校生の見送りもなく、中学校に入学したものの6月まで学校は再開されず、楽しみだった部活動も満足にやることはできなかった」。「このまま修学旅行にも行けず、さみしい中学校生活で終わるのですかねえ。」私たち教員にとっては、今までとは違う3年間だったかもしれませんが、この今を過ごす子どもたちにとっては、そのときにしか経験できない貴重な3年間なのです。

未知の恐怖心が先行していた2年前と違い、5波6波と経験する中、コロナ感染症への対応も少しずつ冷静にできるようになってきました。新たな日常が少し見えてきたような気がします。そのようなときだからこそ、従来の学校行事等を完全に復活させることに全力を注ぐのではなく、本当に大切なものを見定める必要があると思います。今までの学校現場では、スクラップ&ビルドがなかなかできませんでした。コロナ禍のために強制的にスクラップされたことを逆にチャンスと捉え、新たな行事を創造したり、同じ行事でも時間的なことや運営の仕方、規模など見直したりし

て工夫することをポジティブに考えたいものです。そしてコロナ禍のような状況下でも子どもたちが主体的に活動できる場を保証していくことが大切です。今までのような運動会や音楽祭、修学旅行等の行事だけに頼らず、深く心に刻まれ、子どもたちが主役になるべくものを学校は創り出さなければなりません。

VUCA(ブーカ:変わりやすく不確か複雑で曖昧)の時代を生き抜くには、非認知スキルと呼ばれるメタ認知能力、とりわけレジリエンス(回復力)やグリット(やり抜く力)が必要であると言われています。栗東市では0歳から15歳を経て成人まで、一貫した成長を支える仕組みとして「栗東子育て教育 Next プロジェクト」を策定し、昨年度からその具現化に向けて動き出しました。この取組の肝は前文で挙げた非認知能力の向上を目指すことです。点数では測りきれない子どもの能力を上げることが、ニューノーマル時代の学校を創るうえでICTの活用とともに重要になってきます。この取組が明るい未来への礎につながることを信じ、校園だけでなく保護者や地域、関係機関と連携を取りながら「チーム栗東 Next 育成団」として子どもの成長を支えていきたいと考えています。

【令和4年度 栗東市立教育研究所 運営概要図】

栗東市 教育方針

心豊かに たくましく生きぬく人材の育成

教育研究所

基本方針

栗東市教育方針に沿って、教育の今日的な課題の究明
及び解決に努め、栗東市教育の振興・充実に資する。

研究事業

通常の学級と通級指導 教室の学びをつなぐ実 践調査研究

～「子どもの学びをつな
ぐ」「教師がつながる」
視点から～

【2年次の取り組み】

- ①通級指導教室の
理解推進のための研修
- ②通級指導教室の
授業参観の設定
- ③連携を支えるための
ツールの開発

研修事業

教職員研修講座

就学前教育、小・中学校
教育、一般教育、特別支援
教育等に関する内容

教育研究奨励事業

保育者・教職員の自発
的な教育研究活動の促
進。研究の進め方等に
関する指導

就学前保育教育 内容研修事業

信頼される園づくりのた
めに、保育倫理の確立、保
育の計画性、実践力等の
専門性の向上

渉外・啓発

渉 外

- 「くりちゃんチャレンジ」
運営のための連携
- 関係機関との連携
- ・県内教育研究所協議会
- ・県総合教育センター
- ・近畿地区教育研究（修）
所連盟

啓 発

- ・「教育研究所だより」
の発行とホームページ
への掲載
- ・プログラミング教材の
提供
- ・教育研究奨励論文集
の収録とホームページ
への掲載

今日的課題の
究明・解決

指導力を
高める

関係機関との
連携

第20回 栗東市教育研究発表大会

研究奨励事業結果発表及び表彰・研究論文発表・調査研究発表・教育講演会

保育者・教職員の資質向上をめざします



令和4年度 栗東市立教育研究所研究事業 調査研究

研究主題

通常の学級と通級指導教室の学びをつなぐ実践 ～「子どもの学びをつなぐ」「教師がつながる」視点から～（2年次）

栗東市立教育研究所 研究員 松田 愛

1. 通級指導教室の現状

通級による指導は、平成5年度から制度化されました。滋賀県における対象児は、令和3年度では1,852人、通級指導教室の数は100教室まで拡充しています。栗東市では、通級指導教室を「ことばとまなびの教室」とよび、市内小学校に5教室、中学校に2教室設置されています。うち、治田東小と栗東西中の通級指導教室は、今年度新設されました。

2. 通級指導教室の課題

通級による指導の目的は、障がいによる学習や生活上の困難の改善・克服を目的として、児童生徒のニーズに応じて指導を行うことにより、その指導の効果が通常の学級における授業や生活において発揮できるようにすることです。通級指導教室での専門的な指導が生かされるためには、通級担当者、学級担任や保護者との連携が欠かせません。教師同士がつながり、密な連携を図っていくことにより、それぞれの場での対象児の学びがつながり、通級指導教室と通常の学級での「学びの連続性」がうまれていくと考えます。

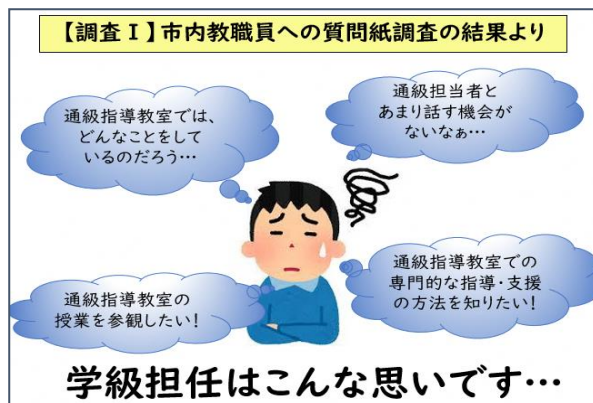
3. 研究の目的

本研究では、対象児の通級指導教室と通常の学級における「学びの連続性」に焦点を当てながら、学級担任と通級担当者の連携の在り方を提案し、通級指導教室での学習内容を通常の学級での授業や生活に生かしていくことで、対象児の学びをつなげていくことについて考察します。

4. 1年次の調査から明らかになった現状と課題

1年次の調査から、学級担任と通級担当者の連携に関する課題として、両者が互いに「対象児について話したい」と思っているもののその時間の確保が難しいことや、学級担任が通級指導教室での学習内容について十分に把握しきれていない現状が明らか

かになりました。また、たくさんの教職員が通級指導教室についてもっと知りたいという思いをもっており、通級指導教室の授業参観や研修を望んでいることが明らかになりました。



5. 2年次の研究内容

課題を解決するために3つの方策を実践します。



栗東市内の4校（大宝小、大宝東小、葉山中、栗東中）に研究協力をいただき、実践・検証へと進めます。また、栗東市内の教職員の皆様へ質問紙調査を行い、通級指導教室に関する現状把握を行います。研究へのご協力をよろしくお願いいたします。



教育研究所 運営委員の紹介！

市内の園長会、校長会、主任会、教務主任会の各代表の先生方に運営委員をお願いし、教育研究所の運営を展開していきます。運営委員の先生方をご紹介します。

園長会代表	治田東幼稚園	園長	本山 真知子
校長会代表	治田小学校	校長	田中 覚
主任会代表	葉山東幼稚園	主任保育士	小林 めぐ美
教務主任会代表	金勝小学校	教諭	川田 一郎
教務主任会代表	治田西小学校	教諭	森下 一司
教務主任会代表	葉山中学校	主幹教諭	山中 美幸

- ◆今年度も、新型コロナウイルス感染症の流行においてまだまだ油断はできない状況にありますが、感染拡大防止対策をしっかりと講じながらできる範囲で「夏期研修講座」や「教育研究奨励事業」を進めていきたいと思います。感染拡大状況により、参加人数の制限をしたり、中止をしたりする場合がありますが、教育研究所の研修講座等にふるってご参加ください。
- ◆保育・教育に役立つ講座等が提供できるように研究所運営を推進していきます。

教育研究所 所員の紹介！

課長	黒川 俊文	参事	高野 崇
所長	武田 吾朗		
★研修・研究係長	安岡 寛	研修・研究係長	山口 敏生
研修主事	森 聡	研修主事	五藤 章
研修主事	吉川 寛	研修主事	奥田 智紀
研修主事	稗田 将	研修主事	國松 恵里
研究員	松田 愛		
★庶務係	井沢 多郎	武田 育大	吉川 素子
★学習支援員	塩見 千鶴	豊田 有希	

〒520-3088 栗東市安養寺一丁目 13-33

栗東市教育委員会事務局内

TEL 077-551-0130 ・ FAX 077-551-0149

E-mail kenkyusho@city.ritto.lg.jp

